

教科	国語	履修学年	3年	指導時間	140	担当者	鈴木 葉月			
使用教科書	新編 新しい国語3 (東京書籍) 新編 新しい書写 (東京書籍)	補助教材	<ul style="list-style-type: none"> ・ステップ別常用漢字(浜島書店) ・中学生の文法(とうほう) ・改訂版国語便覧(浜島書店) ・中学実力検成テキスト国語3年(文理) ・改訂版ビギナーズ古典(尚文出版) ・精選難関私立高校入試対策問題集(エデュケーショナルネットワーク) 			区分	必修			
教科の目標	国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。									
評価規準	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能					
小説・詩	<ul style="list-style-type: none"> ・作品に描かれる人物像や人間関係、人物の心情を興味を持って読もうとしている。 ・文学らしい表現に着目し、言葉を吟味しようとしている。 ・作品におけるモチーフの扱われ方に着目し、場面を追ってそこから主題を把握し、それについて自分の考えをまとめようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の感じたことや考えたことを発表している。 ・互いの考えを聞き合い、理解し合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品に対する自分の思いや考えを、文章に書いている。 ・作品の内容を、読んだことのない人に伝えるように紹介する文章に書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・心情の読み取れる行動描写や心情を表す表現と関連づけ、会話に表れている人物の心情を理解しようとしている。 ・表現に即して心情の変化を説明している。 ・行動から人物像について考え、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文脈上の語句の意味を、正確に、的確に理解している。 ・心情に沿った読み方を工夫している。 ・情景描写、せりふ、心情の描写、思考の描写、語り手の説明などが書き分けられていることを理解している。 					
説明文・評論文	<ul style="list-style-type: none"> ・文章に表現されている説明や主張を、それを支える構成や展開を含めて的確に理解し、文章の要点をとらえようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の考えについて、根拠を示して自分の考えを話すことができる。 ・他の人の意見を聞き、そこから新しい視点を見つけることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・段落の関係を踏まえて、分かりやすく要旨をまとめて書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事実と筆者の考えを区別し、それぞれの要点とそれらの論理的な展開を理解している。 ・筆者の思考の展開に即して、段落の要点となるキーワードを見つけることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的な用語や独自の用語の意味を、文脈の中で正確に読みとっている。 ・キーワードを取り出し、文脈の中で意味を正確に読みとっている。 					
古典	<ul style="list-style-type: none"> ・古典を読み、それを現代とかかわらせて考えようとしている。 ・古典を、成立当時の社会や人々のものの見方や考え方の中において理解しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・原文をいきいきと音読している。 ・自分の予想や考えを発表している。 ・他の人の発表を考えながら聞いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・古典作品と現代や自分のかかわりについて、自分の考えを文章にまとめていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・原文と口語訳とを照らし合わせ、文章の意味が理解できている。 ・古文や漢文の話の展開を追い、内容を正確に読みとっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代仮名遣いと歴史的仮名遣いの違いに気づくことができる。 ・歴史的仮名遣いを正しく音読できる。 ・漢文の書き下し文の特色について、初歩的な知識を習得している。 					
文法	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉のきまりに気づき、知識を整理し、理解しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話すとき、聞くときに、文法に基づいて言葉を使用しているか、話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学んだ文法の知識を活用して、正確な文章を書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の中の段落の役割、段落内の文と文との関係を、文法の知識を基にして読みとっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の単位、文の構造、品詞、指示語について理解している。 					
漢字・書写	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の成り立ちに興味を持っている。 ・漢和辞典を活用して調べようとしている。 ・筆記用具、用紙の種類や大きさに合わせた文字を書こうとしている。 	/		<ul style="list-style-type: none"> ・学年別漢字配当表に示された漢字について、文や文章の中で使っている。 ・字形を整え、文字の大きさ、配置に気をつけて書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な言語文化に親しんだり、言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し使ったりする。 ・身の回りの文字に関心をもち、効果的に文字を書いている。 				
主な評価資料	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み ・提出物(授業プリント・課題) ・小テスト ・発表活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み ・発表活動 ・提出物(プリント) ・音読・暗唱テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み ・提出物(ノート、プリント、書写の作品) ・定期考査 ・総合考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み ・提出物(ノート、プリント) ・定期考査 ・総合考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・提出物(ワークブック、書写の作品) ・音読・暗唱テスト ・総合考査 					
評価の割合	20%	20%	20%	20%	20%					
学級編成	<ul style="list-style-type: none"> ・通常の学級で一斉授業を基本とする。 ・単元によっては、グループ活動、ペアワーク等を適宜取り入れる。 									
観点別の評価基準	A 十分満足できると判断されるもの		B 概ね満足できると判断されるもの		C 努力を要すると判断されるもの		<ul style="list-style-type: none"> ・・・80%以上の達成 ・・・50%以上80%未満の達成 ・・・50%未満の達成 			
評定基準5段階	5 十分満足でき、特に程度の高いもの		4 十分満足できると判断されるもの		3 概ね満足できると判断されるもの		<ul style="list-style-type: none"> ・・・90%以上の達成 ・・・80%以上90%未満の達成 ・・・50%以上80%未満の達成 ・・・20%以上50%未満の達成 ・・・20%未満の達成 			
	2 努力を要すると判断されるもの		1 いっそう努力を要すると判断されるもの							

教科	社会	履修学年	3年	指導時間	158時間	担当者	箱崎 土屋 渡辺
使用教科書	新しい日本の歴史 (育鵬社) 新しい みんなの公民 (育鵬 社)		補助教材	中学実力練成テキスト社会 (歴史) 3年間の総仕上げ問題集 (東京書籍) 資料カラー歴史 (浜島書店) ビジュアル公民 (とうほう)		区分	必修
教科の目標	社会的諸事象に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、日本や世界の地理的事象や歴史に対する理解を深める。						
評価規準	社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	資料活用	表現	社会的事象についての知識・理解		
近現代の日本と世界	我が国の近現代の歴史とそれにかかわる世界の動きに対する関心を高め、意欲的に追究し、国際協調の精神を養い国民としての自覚をもととする。	我が国の近現代の歴史とそれにかかわる世界の動きから課題を見出し、歴史の流れと現代の特色を多面的・多角的に考察し、公正に判断している。	我が国の近現代の歴史とそれにかかわる世界の動きに関する様々な資料を収集し、適切に選択して活用するとともに、追究し考察した過程や結果をまとめたり、説明したりしている。	我が国の近現代の歴史とそれにかかわる世界の動きを理解し、その知識を身につけている。			
私たちと現代社会	高度経済成長以降の社会的事象に対する関心を高め、課題を意欲的に追究し、広い視野に立ってよりよい社会を考え公民としての自覚をもって責任を果たそうとする。	高度経済成長以降の社会的事象から課題を見出し、現代日本の発展の過程を踏まえ国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察し、我が国の在り方について様々な観点から公正に判断している。	高度経済成長以降の社会的事象に関する様々な資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して活用するとともに、課題を追究し考察した過程や結果をまとめたり、発表や討論などを行ったりしている。	社会の変容や特色をとらえるために比較という方法があることを理解し、現代日本の発展の過程、国際化の進展のあり方について理解するとともに、現代社会の特色に気づき、その知識を身につけている。			
私たちと経済	個人や企業の経済活動に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、経済活動について考えようとしている。	社会における企業の役割と社会的責任、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、個人や企業の経済活動の在り方について様々な立場から公正に判断している。	個人と企業の経済活動に関する様々な資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して活用するとともに、追究し考察した過程や結果をまとめたり、説明したりしている。	経済活動の意義、市場経済の基本的な考え方、生産の仕組みのあり方、金融の働きについて理解し、その知識を身につけている。			
私たちと政治	人間の尊重についての考え方と法、国や地方公共団体の政治に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、民主的な政治について考えようとしている。	我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることと議会制民主主義や選挙の意義について多面的・多角的に考察し、民衆的な政治の在り方について公正に判断している。	人間の尊重についての考え方と法に関する資料、国や地方公共団体の政治に関する資料を収集し、学習に役立つ情報を選択し、結果をまとめたり説明したりしている。	人間尊重の考え方を基本的人権を中心に深め、日本国憲法に基づいて政治が行われていること、民主政治の仕組みのあり方や公正な裁判の保障、国民の政治参加の大切さに気づき、その知識を身につけている。			
私たちと国際社会の諸課題	国際社会の諸問題に対する関心を高め、課題を意欲的に追究し、世界平和を確立するための熱意と協力の態度が育つとともに、これからのよりよい社会を築くために解決すべき諸課題を考え続けようとする態度が育っている。	国際社会の諸問題から課題を見出し、世界平和の実現と人類の福祉の増大について、多面的・多角的に考察し、これからのよりよい社会の在り方について、様々な観点や立場から公正に判断している。	国際社会の諸問題に関する様々な資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して活用するとともに、課題を追究し考察した過程や結果をまとめたり、発表や討論などを行ったりしている。	世界平和の実現と人類の福祉の増大にかかわって、国家間の相互の主権の尊重と協力、日本国憲法の平和主義について理解を深めるとともによりよい社会を築いていくために解決すべき課題について理解し、その知識を身につけている。			
主な評価資料	・提出物、ワークシート ・授業の様子、定期考査	・提出物 ・小テスト、課題、定期考査	・提出物、ワークシート ・小テスト、定期考査	・提出物、ワークシート ・小テスト、定期考査	・提出物、ワークシート ・小テスト、定期考査		
評価の割合	25%		25%		25%		25%
学級編成	・クラス単位						
観点別の評価基準	A 十分満足できると判断されるもの B 概ね満足できると判断されるもの C 努力を要すると判断されるもの		・・・ 80%以上の達成 ・・・ 50%以上80%未満の達成 ・・・ 50%未満の達成				
評定基準5段階	5 十分満足でき、特に程度の高いもの 4 十分満足できると判断されるもの 3 概ね満足できると判断されるもの 2 努力を要すると判断されるもの 1 いっそう努力を要すると判断されるもの		・・・ 90%以上の達成 ・・・ 80%以上90%未満の達成 ・・・ 50%以上80%未満の達成 ・・・ 20%以上50%未満の達成 ・・・ 20%未満の達成				

令和2年度

評価計画

東京都立富士高等学校附属中学校

教科	数学	履修学年	3年	指導時間	158時間	担当者	池田 坂井 高山
使用教科書	「中学数学3」 (教育出版)		補助教材	四訂版「体系数学2(代数編)」(数研出版) 四訂版対応「体系問題集数学2(代数編) 【発展】」(数研出版) 四訂版「体系数学2(幾何編)」、 四訂版対応「体系問題集数学2(幾何編) 【発展】」(数研出版)		区分	必修
教科の目標	数量、図形などに関する基礎的な概念や原理・法則の理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさ、数学的な見方や考え方のよさを知り、それらを進んで活用する態度を育てる。						
評価規準	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量・図形などについての知識・理解			
数量関係	具体的な事象の中にある2次関数のグラフを調べることを通して、実生活との関係性を見いだし表現し、考察したりすることに関心をもち、こうした見方や考え方を意欲的に問題の解決に活用しようとする。	事象の中にある対応関係や依存、因果などの関係に着目するなどして、変化や対応などについての見方や考え方を身につけ、事象に潜む関係やきまりをとらえたり、見通しをもって順序よく筋道を立てて考えたりすることができる。	2次関数の関係をとらえ、表、式、グラフなどを用いて処理したり、数学的に処理したりすることができる。 また、1次関数と2次関数の交点の座標を求めることが出来、原点と交点を結んだときに出来る三角形の面積を求めることができる。	座標軸上に2次関数のグラフを描くことができる。また、連続していない関数や定義域によって関数が変わるグラフを描くことが出来る。			
図形	様々な事象を相似な図形の性質、円周角と中心角の関係、三平方の定理などで捉えたり、それらを図形の性質の考察や計量に用いたりするなど、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり判断したりしようとしている。	相似、円、三平方の定理などについての基礎的・基本的な知識・技能を活用しながら、事象に潜む関係や法則を見出したり、数学的な推論の方法を用いて論理的に考察し表現したり、考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付けている。	相似な図形の性質などを、数学の用語や記号を用いて簡潔に表現したり、円周角や中心角の大きさを求めたり、直角三角形の辺の長さを求めたりするなど、技能を身に付けている。	相似の意味、三角形の相似条件、平行線と線分の比についての性質、相似ひの面積比及び体積比の関係、円周角と中心角の関係、三平方の定理の意味などを理解し、知識を身に付けている。			
主な評価資料	学習態度、提出物、小テスト	定期考査、小テスト	定期考査、小テスト	定期考査、小テスト			
評価の割合	25%	25%	25%	25%			
学級編成	標準・発展の2展開の習熟度別編成(定期考査毎にクラスを再編成)をする。						
観点別の評価基準	A 十分満足できると判断されるもの B 概ね満足できると判断されるもの C 努力を要すると判断されるもの		・・・80%以上の達成 ・・・50%以上80%未満の達成 ・・・50%未満の達成				
評定基準5段階	5 十分満足でき、特に程度の高いもの 4 十分満足できると判断される 3 概ね満足できると判断されるもの 2 努力を要すると判断されるもの 1 いっそう努力を要すると判断されるもの		・・・90%以上の達成 ・・・80%以上90%未満の達成 ・・・50%以上80%未満の達成 ・・・20%以上50%未満の達成 ・・・20%未満の達成				

令和2年度

評価計画

東京都立富士高等学校附属中学校

教科	理科	履修学年	3年	指導時間	158時間	担当者	永井 伎・村山高志 塩入直也・鈴木 晃	
使用教科書	新版 理科の世界3 (大日本図書)	補助教材	グラフィックサイエンス最新理科資料集(明治図書) 中学の物理・化学・生物・地学(教育開発出版) 系統的に学ぶ中学物理・化学・生物・地学(文理) 理科の総仕上げ問題集(東京書籍)			区分	必修	
教科の目標	・自然に対する関心を高め、目的意識を持って観察、実験などを行い、科学的に調べる能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。							
評価規準	関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	知識・理解				
運動とエネルギー	運動とエネルギーに関する事物・現象に関心をもち、意欲的に観察・実験を行ったり、それらの事象を日常生活と関連づけて考察したりしようとする。	運動とエネルギーに関する事物・現象について問題を見だし、解決方法を考えて観察・実験などを行ったり、規則性を見いだしたりして考察することができる。	運動とエネルギーに関する事物・現象についての観察、実験を行い、観察、実験の基本操作を習得するとともに、規則性を見いだしたり、自らの考えを導き出したりして創意ある観察・実験報告書の作成に関する技術を身につける。	運動とエネルギーに関する観察、事物・現象を行い、それらについての原理・法則や基本的な概念を理解し、知識を身につけている。				
化学変化とイオン	化学変化とイオンに関する事物・現象に関心をもち、意欲的に観察・実験を行ったり、それらの事象を日常生活と関連づけて考察したりしようとする。	化学変化とイオンに関する事物・現象について規則性を見だし、推論を立てて観察や実験などを行い、結果を考察し、説明することができる。	化学変化とイオンについての観察・実験を行い、観察・実験の基本操作を習得し、正しく安全に実験を行うことができるとともに、実験報告書の作成に関する技術を身につける。	化学変化とイオンについての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。				
科学技術と人間	科学技術と人間のかかわりに関心をもち、意欲的にそれらを調べたり探究しようとするとともにエネルギーの有効利用や環境との調和に心がけようとする。	科学技術と人間のかかわりに関心をもち、意欲的にそれらを調べたり探究しようとするとともに科学的に考察したりする。	科学技術と人間のかかわりに関心をもち、意欲的にそれらを調べたり探究しようとするとともに、自らの考えを導き出した観察・実験報告書の作成や発表を行う。	観察・実験・調査・見学・ものづくりなどを通して科学技術と人間のかかわりに関して理解し、基本的な知識を身につけている。				
自然と人間	自然と環境、自然と人間に関する事物・現象に関心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、自然環境を保全し生命を尊重しようとする。	自然と環境、自然と人間に関する事物・現象の中に問題を見出し、解決方法を考えて観察・実験や調査を行い、それらの事象を時間・空間と関連づけて動的に見たり、事象の生じる要因や仕組みを分析的・総合的に考察して問題を解決する。	自然と環境、自然と人間に関する事物・現象についての観察・実験や調査を行い、観察・実験の基本操作を習得するとともに、観察・実験や調査の計画・実施・結果の記録・考察など探究する過程を通して規則性を見いだしたり、自らの考えを導き出したりして創意ある観察・実験報告書の作成や発表を行う。	自然と環境、自然と人間に関する事物・現象について理解し、知識を身につけている。				
主な評価資料	・提出物、プリント、ノート ・学習に取り組む様子	・提出物 ・小テスト、課題、定期考査	・提出物、レポート、プリント ・パフォーマンステスト ・定期考査や小テスト	・定期考査や小テスト ・学習の様子				
評価の割合	25%	25%	25%	25%				
学級編成	通常のクラスで授業を行うが、観察や実験、授業内容によって、実験室（物理、化学、生物、地学）で、実験班に編成し、共同作業を行う場合がある。							
観点別の評価基準	A 十分満足できると判断されるもの・・・80%以上の達成 B 概ね満足できると判断されるもの・・・50%以上80%未満の達成 C 努力を要すると判断されるもの・・・50%未満の達成							
評定基準5段階	5 十分満足でき、特に程度の高いもの・・・90%以上の達成 4 十分満足できると判断される・・・80%以上90%未満の達成 3 概ね満足できると判断されるもの・・・50%以上80%未満の達成 2 努力を要すると判断されるもの・・・20%以上50%未満の達成 1 いっそう努力を要すると判断されるもの・・・20%未満の達成							

教科	音楽	履修学年	3年	指導時間	35時間	担当者	橋場 友彦
使用教科書	中学生の音楽 2・3上下 (教育芸術社)		補助教材	中学生の器楽(器楽版) クラス合唱用MY SONG(教育芸術社)		区分	必修
教科の目標	・表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、豊かな情操を養う。						
評価規準	音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力			
歌唱	<ul style="list-style-type: none"> 曲のもっているよさや特質に関心を持ち、自己のイメージや感情を生かして曲にふさわしい歌唱表現をすることに意欲的である。 各声部の特徴と役割、声部の構造、曲の仕組みに関心をもっている。 演奏を客観的にとらえ、全体の響きの調和に関心を持ち、合唱表現をすることに意欲的である。 	<ul style="list-style-type: none"> 曲のもっているよさや特質を味わい、自己のイメージや感情を生かして曲にふさわしい歌唱表現を工夫している。 各声部の特徴と役割、声部の構造、曲の仕組みを感じ取っている。 演奏を客観的にとらえ、全体の響きの調和に関心を持ち、合唱表現を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 曲のもっているよさや特質を味わい、自己のイメージや感情を生かして曲にふさわしい歌唱表現をする技能を身に付けている。 各声部の特徴と役割、声部の構造、曲の仕組みを生かして合唱表現をする技能を身に付けている。 演奏を客観的にとらえ、全体の響きの調和を感じ取って合唱表現する技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽の様々な構成要素(声や楽器固有の音色とその変化の組み合わせ、リズムや拍子の特徴、リズムパターンの反復や変化、非拍節的なリズムの自由な動きや流れ、旋律の特徴や様々な音階、我が国及び世界の諸民族の音楽に見られる様々な音と音とのかかわり合い、形式など)の働き及び効果を理解し、楽曲の雰囲気や曲想とかかわらせて聞くことで知識を身に付けている。 			
器楽	<ul style="list-style-type: none"> 楽器の特徴(楽器固有の音色や響き、奏法の特徴や効果、楽器の色々な組み合わせなど)を生かすことに関心を持ち、器楽表現をすることに意欲的である。 演奏を客観的にとらえ、全体の響きの調和に関心を持ち、合奏表現をすることに意欲的である。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽器の特徴(楽器固有の音色や響き、奏法の特徴や効果、楽器の色々な組み合わせなど)を感じ取り、それらを生かして器楽表現を工夫している。 演奏を客観的にとらえ、全体の響きの調和に関心を感じ取って合奏表現を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽器の特徴(楽器固有の音色や響き、奏法の特徴や効果、楽器の色々な組み合わせなど)を生かして器楽表現をする技能を身に付けている。 演奏を客観的にとらえ、全体の響きの調和を感じ取って合奏表現をする技能を身に付けている。 				
創作	<ul style="list-style-type: none"> 音楽の諸要素の働きをイメージと関わらせて創作表現をすることに意欲的である。 拍子やリズムが生み出す表現効果に関心を持っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽の諸要素の働きをイメージと関わらせて感じ取り、創作表現を工夫している。 拍子やリズムが生み出す表現効果を感じ取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽の諸要素の働きをイメージと関わらせて創作表現をする技能を身に付けている。 拍子やリズムが生み出す表現効果に気をつけて創作表現をする技能を身に付けている。 				
主な評価資料	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 実技テスト 提出物 授業での取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 実技テスト 提出物 授業での取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 実技テスト 授業での取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 提出物 授業での取り組み 			
評価の割合	25%	25%	25%	25%			
学級編成	通常のクラスで授業を行うが、合唱練習や楽器演奏など授業内容によってグループ編成を行い、共同練習を行う場合がある。						
観点別の評価基準	A 十分満足できると判断されるもの		・・・80%以上の達成				
B 概ね満足できると判断されるもの		・・・50%以上80%未満の達成					
C 努力を要すると判断されるもの		・・・50%未満の達成					
評定基準5段階	5 十分満足でき、特に程度の高いもの		・・・90%以上の達成				
4 十分満足できると判断される		・・・80%以上90%未満の達成					
3 概ね満足できると判断されるもの		・・・50%以上80%未満の達成					
2 努力を要すると判断されるもの		・・・20%以上50%未満の達成					
1 いっそう努力を要すると判断されるもの		・・・20%未満の達成					

令和2年度 評価計画 東京都立富士高等学校附属中学校

教科	美術	履修学年	3年	指導時間	35時間	担当者	廣瀬 直彦
使用教科書	美術2・3 (光村)		補助教材	新美術 表現と鑑賞 (開隆堂)		区分	必修
教科の目標	<p>(1) 主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を想像していく意欲と態度を高める。</p> <p>(2) 対象を深く見つめ感じ取る力や想像力をいっそう高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばす。</p> <p>(3) 美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術との関わりに関心を持ち、よさや美しさなどを味わう能力を高める。</p>						
評価規準	関心・意欲・態度		発想や構想の能力		創造的な技能		鑑賞の能力
お面作り	<p>① 自分を見つめ、表現するものを自ら探し出して制作できる。</p> <p>② 対象を冷静に捉え、形の特徴や現象を見つける。</p>		<p>① 対象を単純な立体として捉えるだけでなく、全体的な表情として豊かに表現できる。</p> <p>② 写実性を意識して見つめ、感情や発見からイメージを広げ心豊な構想をする。</p>		<p>① 対象を注意深く観察し、基本となる形を理解する。</p> <p>② 写実的になるように細部まで描きこみ、粘り強い作品を制作している。</p>		課題導入時や特別時間割などを利用して、画像・映像・美術史・友人の作品・画集などを鑑賞し、その感想を提出させる。
着色彩構成	<p>① 色を科学的に理解し、絵の具と光の三原色の違いや、色の三属性や対比、進出色、後退色、寒色、暖色など、色のさまざまな性質に興味を持つ。</p> <p>② 色の感情・対比を効果的に使った色彩構成の作品を意欲的に制作する。</p> <p>③ 偶然出来た形より、自分が美しいと感じる形を探し出す。</p>		<p>① 色の性質や混色・配色など、学んだことを意図に合う表現方法で制作する。</p> <p>② 自分が探し出した美しい形を生かす配色を考える。</p> <p>③ 色の性質を効果的に使った色彩構成を発想することができたか。</p>		<p>① 構想を基に、意図した色の絵の具によって、各色面を塗ることができたか。</p> <p>② 全体や部分の関係に気を配り、色の対比や組み合わせによる効果を最大限に生かした作品ができたか。</p>		
スクラッチボード	<p>① 今までの技法を積極的に活用し、積極的に制作に取り組む。</p>		<p>① ハッチングの特徴を理解し、構図からデザインまで構想し、表現する。</p>		<p>① これまでに学んだ表現技法を生かして創造的に表現する。</p> <p>② 技法を理解し表現する。</p>		
主な評価資料	<ul style="list-style-type: none"> 作品 制作過程の様子 授業に取り組む態度 		<ul style="list-style-type: none"> 作品 制作過程の様子 		<ul style="list-style-type: none"> 作品 制作過程の様子 		
評価の割合	25%		25%		25%		25%
学級編成	通常のクラス編成で授業を行う。						
観点別の評価基準	A 十分満足できると判断されるもの		B 概ね満足できると判断されるもの		C 努力を要すると判断されるもの		<ul style="list-style-type: none"> …80%以上の達成 …50%以上80%未満の達成 …50%未満の達成
評定基準5段階	5 十分満足でき、特に程度の高いもの		4 十分満足できると判断されるもの		3 概ね満足できると判断されるもの		<ul style="list-style-type: none"> …90%以上の達成 …80%以上90%未満の達成 …50%以上80%未満の達成 …20%以上50%未満の達成 …20%未満の達成
	2 努力を要すると判断されるもの		1 いっそう努力を要すると判断されるもの				

教科の目標	技術・家庭 技術分野	履修学年	3年	指導時間	17時間	担当者	上野 学
使用教科書	新編新しい 技術・家庭 技術分野	補助教材	中学校技家ノート 技術分野（技術とものづくり・情報と コンピュータ） プリント教材			区分	必修
教科の目標	*生活に必要な基礎的な知識と技術の習得を通して、生活と技術との関わりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。						
評価規準	生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	生活や技術について の知識・理解			
C 生物育成に 関する技術 (1) 生物の 生育環境と 育成技術	・生物育成に関する技術の課題を進んで見つけ、社会的・環境的及び経済的側面などから比較・検討しようとするとともに、適切な解決策を示そうとしている	・生物育成に関する技術の課題を明確にし、社会的・環境的及び経済的側面などから比較・検討するとともに、適切な解決策を見いだしている。	・計画に基づき、適切な資材や用具を用いて合理的な管理作業ができる。	・生物の育成に適する条件と、育成環境を管理する方法についての知識を身につけている。 ・生物育成に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響について理解している。			
C 生物育成に 関する技術 (2) 生物育 成に関する 技術を利用 した栽培又 は飼育	・環境に対する負荷の軽減や安全に配慮して栽培又は飼育方法を検討しようとしている。 ・新しい発想を生み出し活用しようとしている	・成長の変化をとらえ、育成する生物に応じて適切に対応を工夫している。	・計画に基づき、適切な資材や用具を用いて合理的な管理作業ができる。	・育成する生物の各成長段階における肥料・飼料の給与量や方法をはじめとした管理作業及びそれに必要な資材・用具・設備などについての知識を身につけている。			
D 情報に関 する技術 (1) 情報通 信ネット ワークと情報モ ラル	・情報社会において適正に活動しようとしている。 ・情報に関する技術の課題を進んで見つけ、社会的、環境的及び経済的側面などから比較・検討しようとするとともに、適切な解決策を示そうとしている。	・情報に関する技術の利用場面に応じて、適正に活動している。 ・情報に関する技術の課題を明確にし、社会的・環境的及び経済的側面などから比較・検討するとともに、適切な解決策を見いだしている。	・合理的な管理作業ができる。	・コンピュータを構成する主要な装置と、基本的な情報処理の仕組み、情報をコンピュータで利用するために必要なデジタル化の方法についての知識を身につけている。			
D 情報に関 する技術 (2) デジタル 作品の設計 ・制作	・利用者が安心して利用できる作品を設計・製作しようとしている。 ・新しい発想を生み出し活用しようとしている	・デジタル作品の使用目的や使用条件を明確にし、社会的、環境的及び経済的側面などからメディアの素材の特徴と利用方法や、適切なソフトウェアなどを比較・検討するとともに、適切な解決策を見いだしている。	・設計に基づき、適切なソフトウェアを用いて多様なメディアを複合し、表現や発信ができる。	・メディアの素材の特徴と利用方法や、適切なソフトウェアを選択し、多様なメディアを複合する方法についての知識を身につけている。			
D 情報に関 する技術 (3) プログラム による計測 ・制御	・利用者への影響などを考え、プログラム作成しようとしている。 ・新しい発想を生み出し活用しようとしている	・計測・制御の目的や条件を明確にし、社会的・環境的及び経済的側面などから情報処理の手順を変更した場合の効果と比較・検討した上で、計測・制御に適した情報処理の手順を決定している。	・設計に基づき、簡単な計測・制御のプログラムを作成できる。	・計測・制御システムにおける構成や、その中でのプログラムによる情報の処理についての知識を身に付けている。 ・情報処理の手順についての知識を身に付けている			
主な評価資料	・提出物・HP作品 ・栽培レポート ・学習に取り組む様子 ・定期考査	・提出物 ・学習に取り組む様子 ・定期考査・HP作品 ・作品・栽培レポート	・提出物 ・学習に取り組む様子 ・定期考査・HP作品 ・作品・栽培レポート	・提出物 ・学習に取り組む様子 ・定期考査			
評価の割合	25%	25%	25%	25%			
学級編成	クラス単位						
観点別の 評価基準	A 十分満足できると判断されるもの ……80%以上の達成 B 概ね満足できると判断されるもの ……50%以上80%未満の達成 C 努力を要すると判断されるもの ……50%未満の達成						
評定基準 5段階	5 十分満足でき、特に程度の高いもの ……90%以上の達成 4 十分満足できると判断される ……80%以上90%未満の達成 3 概ね満足できると判断されるもの ……50%以上80%未満の達成 2 努力を要すると判断されるもの ……20%以上50%未満の達成 1 いっそう努力を要すると判断されるもの ……20%未満の達成						

令和2年度

評価計画

東京都立富士高等学校附属中学校

教科	技術・家庭 家庭分野	履修学年	3年	指導時間	18時間	担当者	田川
使用教科書	新しい技術・家庭 家庭分野 東京書籍	補助教材	新しい技術・家庭学習ノート 家庭分野 東京書籍 最新技術家庭科資料集 明治書院			区分	必修
教科の目標	生活の自立に必要な基礎的な知識と技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、課題を持って生活をよりよくしようとする能力と実践的な態度を育てる。						
評価規準	生活や技術への 関心・意欲・態度	生活や技術への 関心・意欲・態度	生活の技能		生活や技術について の知識・理解		
家庭と家族 関係	・自分の成長や生活と家族や家庭生活とのかかわりについて考えようとしている。	・家族とのかかわりや、これからの自分の生活に関心を持ち、実践しようとしている。	・幼児に合った接し方や遊び方を工夫し、触れ合う方法を考えて観察できる。		・自分の成長や生活は家族やそれにかわる人々に支えられてきたことに気付いている。		
幼児の生活 と家族	・幼児に関心を持ち、幼児の観察や遊び道具の製作に取り組んでいる。 ・幼児の遊びや遊び道具、遊びと発達とのかかわりについて考えようとしている。 ・幼児の発達を支える家族の役割について考えようとしている。	・幼児の心身の発達に応じた遊びや遊び道具、遊び方について考え、工夫している。	・幼児の遊びの観察・調査や遊び道具の製作ができる。 ・観察・調査したことをまとめたり、発表したりすることができる。		・幼児にとっての遊びの意義について理解している。 ・幼児の心身の発達の概要を理解している。 ・身体の発育 ・運動の機能 ・言語、情緒、社会性 ・幼児の発達を支える家族の役割について理解している。 ・子どもの保護 ・情緒の安定 ・社会化 ・基本的な生活習慣の形成の重要性について理解している。		
児童文化財 製作	・幼児の生活について関心を持ち、課題を見つけようとしている。 ・幼児の生活に役立つ物の製作に関心をもって取り組み、学んだ知識と技能を活用しようとしている。	・幼児の生活に役立つ物の製作について課題を持ち、自分なりの工夫をしたり新たな方法を考えたっている。	・遊び道具、幼児の生活に役立つものを計画を立ててつくることできる。		・遊び道具の製作や絵本の製作など、生活に役立つものの製作に関する基礎的な知識を身に付けている。		
主な評価資料	・提出物 ・学習に取り組む様子 ・定期考査	・提出物 ・学習に取り組む様子 ・定期考査	・提出物 ・学習に取り組む様子 ・定期考査		・提出物 ・学習に取り組む様子 ・定期考査		
評価の割合	25%	25%	25%		25%		
学級編成	クラス単位						
観点別の 評価基準	A 十分満足できると判断されるもの …80%以上の達成 B 概ね満足できると判断されるもの …50%以上80%未満の達成 C 努力を要すると判断されるもの …50%未満の達成						
評定基準 5段階	5 十分満足でき、特に程度の高いもの …90%以上の達成 4 十分満足できると判断される …80%以上90%未満の達成 3 概ね満足できると判断されるもの …50%以上80%未満の達成 2 努力を要すると判断されるもの …20%以上50%未満の達成 1 いっそう努力を要すると判断されるもの …20%未満の達成						

教科	保健体育	履修学年	第3学年	指導時間	105時間	担当者	綿引良宏・矢島隆・鈴木朋子・田島直樹
使用教科書	中学校保健体育	補助教材	2018 中学体育実技			区分	必修
教科の目標	心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、積極的に運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。						
評価規準	関心・意欲・態度		思考・判断		運動の技能		知識・理解
体づくり	体づくり運動に対する関心や意欲をもって互いに協力して運動をしようとする。また、健康や安全に留意して運動をしようとする。		自分の体力や生活に応じて、体ほぐしの行い方や体力の高め方を工夫している。		自分の体力や生活に応じて、体力を合理的に高めるための運動ができる。		体づくり運動の必要性や運動の行い方、心身への効果を理解するとともに、課題に応じた体づくり運動の構成の仕方を理解し、知識を身に付けている。
陸上競技 持久走	陸上競技の特性に関心をもち、楽しさや喜びを味わえるように進んで取り組もうとする。また、互いに協力して練習や競技をしようとし、勝敗に対して公正な態度をとろうとするとともに、練習場の安全や体の調子など、健康・安全に留意して練習や競技をしようとする。		自分の能力に適した課題をもち、その解決を目指して、練習の仕方や競技の仕方を工夫している。		陸上競技の選択した種目の特性に応じた技能を身に付けるとともに、その技能を高め、競技したり記録を高めたることができる。		陸上競技の選択した種目の特性や学び方、技術の構造、合理的な練習の仕方などを理解するとともに、競技や審判の方法を理解し、知識を身に付けている。
ダンス	ダンスの特性に関心をもち、楽しさや喜びを味わえるように進んで取り組もうとする。また、互いのよさを認め合い、協力して練習したり発表したりしようとする。		グループの課題や自分の能力に適した課題の解決を目指して、練習の仕方や発表の仕方を工夫している。		グループで意見を出し合い、音楽から連想する動きから一流れのダンスを創作し、発表することができる。		ダンスの特性や学び方、歴史を理解するとともに、発表の仕方や鑑賞の仕方を理解し、知識を身に付けている。
水泳	水泳の特性に関心をもち、楽しさや喜びを味わえるように進んで取り組もうとする。また、互いに協力して練習ができるようにするとともに、水泳の事故防止に関する心得を守り、健康・安全に留意して練習をしようとする。		自分の能力に適した課題の解決を目指して、練習の仕方を工夫している。		水泳の特性に応じた技能を身に付けるとともに、その技能を高め、続けて長く泳いだり、速く泳いだりすることができる。		水泳の特性や学び方、各泳法の技術の構造、合理的な練習の仕方などを理解するとともに、競技や審判の方法を理解している。また、水泳の事故防止の心得を実践的行動に結びつけて理解し、知識を身に付けている。
球技 バレーボール ハンドボール	球技の特性に関心をもち、楽しさや喜びが味わえるように進んで取り組もうとする。また、チームにおける自分の役割を自覚して、その責任を果たし、互いに協力して練習やゲームをしようとするとともに、勝敗に対して公正な態度を取ろうとする。さらに、練習上などの安全を確かめ、健康・安全に留意して練習やゲームをしようとする。		チームの課題や自分の能力に適した課題の解決を目指して、ルールを工夫したり作戦を立てたりして練習の仕方やゲームの仕方を工夫している。		種目の特性に応じた技能を身に付け、作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。		種目の特性や学び方、技術の構造、合理的な練習の仕方を理解するとともに、競技や審判の方法を理解し、知識を身に付けている。
体育に関する知識	運動の特性と学び方、体ほぐし・体力の意義と運動の効果について関心をもち、運動の実践や生活に生かそうと進んで学習に取り組もうとする。		運動の特性と学び方、体ほぐし・体力の意義と運動の効果について、運動の実践や生活と結びつけて考え、工夫している。		/		運動の特性と学び方、体ほぐし・体力の意義と運動の効果について理解するとともに、運動の生活の中での生かし方や、運動の心身にわたる効果を理解し、知識を身に付けている。

保健 「健康な生活と 疾病の予防」	健康の保持増進のために必要な生活行動や疾病の予防について関心をもち、仲間と協力して資料を集めたり、意見を交換したりしながら課題をみつけ、意欲的に学習しようとしている。	健康の保持増進のために必要な生活行動や疾病の予防について、自分の知識や経験、資料、仲間の意見や考えなどを元にして、科学的に考え、選択すべき行動を判断できる。		健康の保持増進のために必要な生活行動や疾病の予防について、科学的に理解し、日常生活の課題解決に役立つ知識を身に付けている。
主な評価資料	相互評価などの活動の観察およびワークシート・授業への出席および参加状況	グループ活動の観察およびワークシート	動きの観察と実技テスト	審判などによる理解度の把握およびワークシート・定期考査
評価の割合	25%	25%	25%	25%
学級編成	保健及び体育に関しては、各学年の男女を各2グループに分け、4展開での授業を行なう。体育の種目によっては、2グループが体育、2グループが保健の展開がある。			
観点別の 評価基準	A 十分満足できると判断されるもの ……80%以上の達成 B 概ね満足できると判断されるもの ……50%以上80%未満の達成 C 努力を要すると判断されるもの ……50%未満の達成			
評定基準 5段階	5 十分満足でき、特に程度の高いもの ……90%以上の達成 4 十分満足できると判断される ……80%以上90%未満の達成 3 概ね満足できると判断されるもの ……50%以上80%未満の達成 2 努力を要すると判断されるもの ……20%以上50%未満の達成 1 いっそう努力を要すると判断されるもの ……20%未満の達成			